

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスLindle			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日		～	2025年 11月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳以上を対象とした福祉サービス経験者を配置し、今だけの療育ではなく将来を見越した療育ができること。 ・経験豊富な保育士等を配置し、様々な視点から療育を実施できること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童一人一人の特性や性格を見極め、一人一人に合った支援を実施している。 ・社会に出た時に困らないよう、「経験したことがある」と思えるような活動を取り入れ自信や経験に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の他他事業所と連携し双方間で良い刺激になるよう企画やイベントを今後も継続して実施していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・生きていく力や自立していく力をつけるため様々な経験をしていただき、療育プログラムを固定化せず毎回異なるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の成長や特性に応じたプログラムを毎回計画している。 ・「できた」を増やし利用児の自信に繋げ、限界を決めずに可能性を引き出すサポートをしている。 ・学校等と連携し支援の方向性が事ならないように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップできる教材作りを今後も行う。 ・今の時代に合ったやり方(教材)や、保護者の方が懐かしいと思う昔のやり方を交えた療育を日々検討しながら実施していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育と集団療育の両方を実施している点。 主に小集団療育で社会性を培う療育を実施しているが、一人一人個別に対応する時間を設けている。心身がしんどい時は自分だけの空間(個室利用)も可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達やベースに合わせて療育を実施している。 ・職員がそれぞれ見立てをし小さなサインも見逃さないようにしている。 ・個別と集団両方の療育を実施し社会性を育てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児が楽しく通える空間を今後も継続していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎がない点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数の問題がある。 ・駐車場が周辺にない事も要因の一つである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところは現状のままを考えている。(療育に専念したため)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や地域との関わりが未実施なこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開所して間もないため実施することが難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような内容でどのような方法で実施しているか等、他事業所に確認する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みの療育時間が短いこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援との多機能のため時間を多くとることが難しい。職員配置もその分多くなるため今の現状では難しいと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数や療育時間の変更届が必要になるが今後徐々に検討していきたい。